



2022年9月12日

各 位

会社名 KTC（京都機械工具株式会社）
代表者名 代表取締役社長 田中 滋
（コード5966 東証スタンダード）
問合せ先 総務部長 桐山 香
（TEL 0774-46-3700）

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンス・コードに基づき、取締役会の実効性を高め、取締役会の機能向上を図ることで、より一層の企業価値を向上させることを目的とし、取締役会の実効性に関する分析・評価（自己評価）を実施いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

当社は、2022年3月期を評価対象期間として、社外役員を含むすべての取締役（監査等委員を含む）に対し、以下の内容の「当社取締役会の実効性に関するアンケート」を配布し、全員から回答を得ました。得られた回答をもとに当社取締役会において、結果の分析や今後の課題について審議いたしました。

- 【実施時期】： 2022年 7月～8月
- 【質問内容】： ① 取締役会の構成に関する質問 4問
② 取締役会の運営に関する質問 9問
③ 取締役会での審議充実に向けた質問 12問
④ 取締役会を支える体制に関する質問 7問
⑤ その他（前年度との比較評価、要望事項等自由記載） 3問
- 【回答方法】： 各設問に対し、5段階評価およびコメント（理由・意見）/ 記名式
なお、意見記載事項については別途ヒアリング調査を実施いたしました。

2. 分析・評価結果の概要

アンケートの結果、いずれも高い評価であることから、前年同様に取締役会の実効性は概ね確保されているものと評価します。また、任意の指名委員会・報酬委員会による闊達な議論、譲渡制限付株式報酬制度導入による取締役（監査等委員を除く）に対する中長期的なインセンティブの付与などにより、取締役会の実効性はさらに向上しているものと考えます。

一方、審議時間の確保に向けた電子的手段の更なる活用、資料配布時期の早期化については、一部課題が挙げられました。

3. 今後の対応

当社の取締役会は、上記の分析・結果を踏まえ、課題として認識した事項については、改善に向けた取り組みを行ってまいります。また実効性が適切に確保されていると認められた事項についても、更に実効性を高めるための取り組みを強化・継続してまいります。

以上